

## 中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（フランス語文学文化専攻）
科目	外国語（フランス語）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

### 【出題の意図】

人文社会分野における論説文を題材とする問題である。現代社会の問題を含む題材について、一般的な語彙を理解した上で、内容を正確に読み取れているかを問う。また、テキストで扱われているテーマについて、自分の場合をフランス語で表現することができ、さらに根拠を示しつつ自分の意見を展開できるかを問う。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（日本史学専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

### 【出題の意図】

試験前半の講義内容および講義プリントを参照しながら解答する形式で、講義の理解力と歴史資料の読解力を測っている。前半の講義においては、高校生向けの資料集の紙面を用いた例題を解き、歴史資料の内容から歴史的背景を読み取る解説を聴く。後半の試験においては、その例題をもとに応用問題を解く。試験問題はその応用問題にあたる。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	文学部・自己推薦入試
科目	哲学専攻

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

### 【出題の意図】

この問題は、哲学の中でも、形而上学という分野での「自己」を扱っている。問題文の冒頭にあるように、ある朝目覚めて鏡を見たとき顔がいつもとは全く別人のものであったとき、それは「自分」の顔なのか、そもそも「自己」とは何なのか、といったテーマである。

その問題文の理解のテストを通じて、受験者が哲学専攻に入学後、授業や卒業研究に対応できる適正があるか、英語で抽象度や難易度の高いテキストを読み解く力があるか、を測ろうとするものである。問題は合計6つであるが、1. から5. までは、標準的とも言える日本語訳の出題、および英語文章の内容読解に関するもので、6. は本文を踏まえて論述する力を問う出題となっている。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（心理学専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

### 【出題の意図】

本問題は、心理学を大学で学ぶ上で必要不可欠な、①文章読解・論理的思考能力、②自己省察と経験を言語化する能力、③学術的知見を応用・発展させる構想力、という3つの能力を総合的に評価することを目的としています。

高等学校までに培われた知識の量ではなく、与えられた問題文を深く読み解き、そこに示された心理学的な概念を、自分の経験や社会の事象と結びつけながら多角的に考察する力を測ります。これにより、未知の課題に対して主体的に探究し、粘り強く思考できる、将来性豊かな学生を見出すことを狙っています。

#### ○ 各設問の出題の意図

##### 【設問1】

本設問は、学術的な文章を正確に読解し、論理的に再構成する基礎能力を評価するものです。資料文の前半部分に記述されている心理的安全性の重要性を、同じく文中で示される思春期の発達課題と関連づけて説明させることで、複数の情報を統合し、その因果関係を的確に説明する能力を評価します。

さらにその概念の課題を論じさせることで、単なる情報の要約にとどまらず、物事を批判的に検討する視点が備わっているかを確認する意図があります。

##### 【設問2】

本設問は、自己推薦入試の特性を最も反映した設問であり、抽象的な学術概念と、個人の具体的な実体験とを往還させる思考力を評価するものです。心理的安全性という概念を“自分事”としてとらえ、過去の経験を客観的に分析し、そこから得られた学びを言語化するプロセスを通して、自己省察能力の深さを測ります。

また、もし直接的な経験がない場合でも、ピアサポーターという具体的な役割を想定して計画を立案させることで、他者や集団への関心の高さと、課題解決に向けた応用的・創造的思考力を評価する狙いがあります。

##### 【設問3】

本設問は、問題文全体のテーマを統合し、より深く、多面的な考察を展開する能力を評価するものです。コンパッションという、人間の内面に関わる深い概念が、なぜ心理的安全性の高い環境という集団

状態に不可欠なのか、そのつながりを考察させます。これにより、目に見えない心の働きとその影響について、粘り強く思考する力を見ています。

さらに、その実践に伴う難しさと、それへの向き合い方までを問うことで、理想論に終始せず、現実の複雑さや葛藤を直視し、それに対して建設的に思考しようとする成熟した姿勢が備わっているかどうかを判断する意図があります。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（学びのパスポートプログラム）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

### 【出題の意図】

社会問題（今回は「自然保護と観光」がメインテーマ）に関する複数資料を限られた時間内に正確に読み解き、問題の所在を理解した上で自らの意見や考えを作文する能力を問うている。

同時に、学びのパスポートに入学してから、本コース独自の自主的な学びに必要な論理思考性を評価対象としている。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部
科目	外国語（英語）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

### 【出題の意図】

「生物の多様性を保つための庭の理想の状態」をテーマとした講義映像を視聴し、講義内容に関する選択式問題に解答する。文脈に即して語彙の意味を適切に理解する力、情報を正確に聞き取る力、論理的な議論の流れを理解する力、話者の主張を的確に把握する力など、英語による総合的な理解力を評価する。